

ちば文化だより

Millefeuilles

ミルフィーユ Vol.2



contents

特集 あなたの想いをカタチに! —千葉県立文化会館 舞台芸術企画募集

特集2

インタビュー

森麻季(ソプラノ) & 錦織健(テノール)

インタビュー 2

運命の出会い..... 邦楽四重奏団

ちばと芸能..... 与話情浮名横櫛

海の文化手帖..... 銚子大漁節

CHIBAプライド..... 梨

文化の入り口..... ようこそホールへ!

ちばゆかり人..... 佐藤美咲(船橋市出身)

CHECK!
チケットプレゼント



あなたの想いをカタチに！

—千葉県立文化会館 舞台芸術企画募集

個性あふれる 新たな「ちば文化」の 創造をサポート

文化の担い手である県民が主体となって活動するきっかけを作り、さらに文化芸術の裾野を拡大するため、県民自らが企画して文化会館で開催する舞台公演を広く募集します。審査会で採択された団体の企画は、次年度に合同主催事業として実施。本格的な舞台環境を提供するともに、助成金の交付や財団による広報などのサポートを通じて、単独では開催が難しい企画でも財団と協働で実施できます。



出演団体からのコメント

- 財団の協力がなければ開催は不可能でした。舞台照明は本当に素晴らしかったです！公演内容や、広報に関するアドバイスもいただきました。
- 千葉県文化会館の大ホールで公演ができることを心から感謝いたします。いつか吹奏楽で「第九」を演奏したいという夢が叶いました。千葉県文化振興財団との合同主催ということで、様々な場面でお世話になっております。広報面では千葉県内の各施設にチラシを配布して頂きました。自分達の力だけではとてもできない配布数なので感謝しております。

過去に採択・開催された 舞台芸術企画

医科学生コンチェルトオーケストラ

医療系の大学生を中心としたオーケストラが、地域貢献を目指して千葉県東総文化会館で特別演奏会を開催。旭市出身のピアニスト、實川風さんを迎えてクラシック演奏を披露しました。(平成29年11月13日)

高校生バンドコンテスト OTONOMORI vol.2 ～オトノモリ～

出演者である高校生たちにステージでの演奏の機会を提供し、千葉県の軽音楽という文化芸術活動を支援。舞台の様子はYouTubeでライブ配信され、財団職員が照明演出を行いライブ感をより盛り上げました。(令和4年6月12日)

南総パフォーマンスフェスタ

県内で活動するダンスチーム5団体による『南総パフォーマンスフェスタ』を開催。参加者にとっては久しぶりとなるステージでのパフォーマンスを、舞台設営はもちろん音響や照明などで全面的にバックアップしました。(令和4年8月6日)

ザ・ミュージズウィンドオーケストラ 第10回定期演奏会「第九」

千葉県に縁のあるプロの音楽家を中心に結成された団体が、ベートーヴェンの交響曲第9番「合唱付き」を吹奏楽版で演奏。千葉県内各施設のチラシ配布や、財団YouTubeでのPRなど幅広い方たちに公演の周知を図りました。(令和4年8月20日)

募集案内

独創的で魅力のある企画をお待ちしています！

令和5年度に上演する
公演の企画を募集

01 表現のジャンルは不問

舞台芸術に関する企画であれば、音楽、ダンス、演劇などジャンルは問いません。自分たちの伝えたい想いを、自分たちの好きなカタチで表現してください。

02 ポイントは「新しい工夫」

応募資格は県内に活動拠点を置く団体。定期的に実施している成果発表は審査対象となりませんが、新しい工夫（企画）が盛り込まれていれば対象となります。

◎対象施設

千葉県東総文化会館（旭市）
千葉県南総文化ホール（館山市）
青葉の森公園芸術文化ホール（千葉市）

◎対象期間

令和5年4月～令和6年3月に開催する公演の企画

◎募集締切日

令和4年10月31日（月）

応募概要の詳細は
ホームページで





海に囲まれた千葉県で育った文化・芸術を紹介します

銚子大漁節

銚子の漁業を象徴する民謡であり
全国的にも有名な“幸せを祝い願う歌”

大漁節とは、全国の沿岸地で大漁の時に歌われる民謡。その中でも代表的なのが、文化庁による日本遺産に認定されている、銚子市の「銚子大漁節」です。

江戸後期の銚子の漁業の場景が歌詞に盛り込まれた銚子大漁節は、1864年に漁師たちがいわしの大漁を祝して作り、漁船の守り神である白紙大明神（現・川口神社）に奉納したのが起源とされています。その一方、長引く不漁から未曾有の豊漁となった後、漁師たちが感謝の意を表すために作ったという説もあります。

さらに銚子大漁節は“幸せを祝い願う歌”として、漁業だけでなく銚子市民の暮らしにも溶け込んでいます。各町内会では鳴り物保存会が大漁節を継承し、盆踊りや宴席など日常的な場でたびたび披露されています。また、勇壮な“見せる太鼓”としても人気が高く、イベントや演奏会が開催されることも。

7月18日に佐倉市民音楽ホールで行った、邦楽四重奏団の『うみのひファミリーコンサート in 佐倉』では公演のために編曲された「銚子大漁節」がアンコール曲として演奏されました。また、12月4日に千葉県東総文化会館で開催する『和太鼓の饗宴』では、地元で活動する団体が演奏します。

ちばと 芸能

木更津が舞台となった
歌舞伎の名作
実話でもある運命の恋物語

よわなきけうきなのよこぐし 与話情浮名横櫛

「お富与三郎」「切れれ与三」などの通称で知られる歌舞伎の演目。木更津の浜で出会った美男美女がお互いに一目ぼれ。しかし、お富はやくざの親分・赤間源左衛門の妾で…という設定で始まる、江戸時代の恋物語です。元々は長編ですが、現在では二人が出会う「木更津海岸見染」、二人の仲が源左衛門の知るところとなり、与三郎は滅多切りにされ、お富は海へ身を投げる「赤間別荘」、そして三年後、死に別れたと思っていた二人が再会する「源氏店」がよく上演されています。

かつて木更津は、江戸へ房総半島の物資を運ぶための重要な港でした。一日に何艘もの船が出入りするため、そこで働く人を取りまとめる赤間源左衛門のようなやくざが幅を利かせていたのです。そして、海に身を投げたお富を助けたのは、魚油の仕入れに船を走らせていた和泉屋の大番頭多左衛門でした。房総の海産物は、食用としてだけでなく、灯用の油になったり、干鰯類は田畑の肥料として使われていました。そのような当時の生活ぶりも、演目の中から垣間見ることができます。

この話は、江戸末期に活躍した実在の人物、長唄唄方・四代目芳村伊三郎が与三郎のモデルになっています。木更津駅からほど近い光明寺にはお墓（供養墓）があり、お富と与三郎を演じる歌舞伎役者がお参りに来ていたそうです。また、木更津港の近くには、二人が出会い、逢瀬を楽しんだ「見染の松」があり、その近くには新たな恋人の聖地「中の島大橋」があります。木更津は昔も今も、愛を育む場所なのかもしれません。



▲木更津市役所の朝日庁舎内には、千葉県立木更津高等学校美術部の生徒が描いた『与話情浮名横櫛』の浮世絵が壁画として飾られています。「源氏店」の場面、左から蝙蝠安、与三郎、お富。



千葉県が誇るモノやコトを紹介します

梨



収穫量及び出荷量日本一

梨の代表的な品種といえば「二十世紀梨」ですが、実はその発祥地は松戸市です。千葉県は土壌や気象の条件が梨の栽培に適していて、栽培面積・収穫量・産出額ともに例年日本一を誇ります。

梨には美容と健康を保つ効果がたくさん!

梨は水分の多さが特徴的な果物ですが、実は美容や健康に役立つ栄養素も多く含まれています。食物繊維による便秘解消をはじめ、体内の不要物を効率的に排出するデトックス効果、さらに肌を健やかに保つアンチエイジング効果まで期待できるのです。デザートだけでなく料理の具材としても美味しく活用いただけるので、ぜひお試しください。



◀千葉県立鎌ヶ谷高等学校料理
研究部が考案した「梨の豚巻き」。

その他の梨レシピも
『鎌ヶ谷おもてなし
レシピブック』に掲載されています。

レシピブック
はこちら



森麻季

ソプラノ
Maki Mori



錦織健

テノール
Ken Nishikiori

お客さまと一緒
お客さまと一緒に感動できるから、

やっぱりコンサートが好き。

世界的活躍のかたわら、県内でもそれぞれのソロコンサートでおなじみのお二人。この秋、千葉では初めてのデュオリサイタルで素敵な歌声を聴かせてくれます。その魅力や自らの音楽への思い、そして千葉とのかわりをお話いただきました。

歌声を直に伝えられるよろこび

錦織 コロナで活動を制限されコンサート活動ができなかったあいだは、とても歯がゆい思いをしました。活動が再開できたらなにか新しいことをしたい、自分の新たな可能性をさぐりたい、そうして始めたのが

ていらっしやる表情とかも。それこそ私たちがライブで歌う理由なんです。

千葉はそれぞれ思い出の地

錦織 千葉ではこれまで幾度かコンサートを開いていますが、デビューしたての頃に移動芸術祭でまわったのが千葉でした。まだ20代で無名に近い時分です。公演後のお客さまとの交流や、スタッフとわいわいラーメンを食べたことなど、千葉で移動公演の楽しさを教えてもらったのが多くのキャリアアのスタートでもあります。

森 私にとって千葉は海のイメージ。小学

森さんとのデュオリサイタルなんです。ぼくたちの声は、ナマで聴いてもらうのが一番。ナマの声を感じてもらうのがコンサートの醍醐味ですから。

森 コンサートができない間、SNSで歌声を配信もしたけれど、やっぱりお客さまの前で歌いたい。その気持ちは二人とも一緒です。私たちの声って響き、つまりそこにいる人に直に響いてゆく空気の振動なんです。その響きは反響して私たちに還ってくる。声が広がってゆく先にいるお客さまの息づかいや、感動なきらんでいるのが伝わってくるんです。拍手の響きや涙をこらえ

生のとき、夏の臨海学校で館山の海で泳いだことが楽しい思い出です。それまであまり海で泳いだことがなくて、それ以降、海が大好きになりました。藝大生のときは友人と千葉の海でウィンドサーフィンもしましたよ。

錦織 ぼくは、昔、ジュール・ベルヌのSF小説『海底2万哩』を読んでからエネルギー問題解決のカギは「海」にあると思っています。人類の未来像として海の中から自給自足で暮らす人たちが描かれています。だから豊かな海に囲まれた千葉県にはすごく期待しています。ぜひ海のいろん

公演情報 オペラをはじめ日本歌曲、ドラマのメインテーマ曲など盛りだくさんでお届けします

森麻季 & 錦織健デュオリサイタル アメィジング・ソングス～愛と煌めきを歌にのせて～

令和4年11月13日(日) 14:00開演

千葉県文化会館大ホール

一般¥4,000 U-30(30歳以下) ¥2,000 小中高生¥500(全席指定)

／ 詳細はこちら ／



な可能性を開発してほしい。
森 私は千葉にあった人工スキー場でよく滑ったりしました。
錦織 そういえば、二人とも木更津のアウトレットへよく行きます。服でも雑貨でもなんでも揃うし、フードコートを見て歩いて食事をするのも好きです。

音楽で人びとを安らげるために

森 私は毎年〈愛と平和〉をテーマにリサイタルをしています。いまは異常気象や自然災害、戦争、パンデミックと多くの人にとって不安で心が疲れてしまうことが多いように思います。辛いときや悲しみが深いときにも、調和をつかさどる美しい音楽は、そっと寄り添ってくれるものです。

そんな思いを錦織さんと二人でもっと広く、もっとたくさんの人に届けたい。私は、そんな気持ちでデュオリサイタルに臨んでいます。



錦織 森さんは素晴らしい声で心を癒し安らげる。ぼくは歌を通じてみんなの気分を盛り上げたり勇気を与えたりしたい。それと曲間のおしゃべりとギャグ担当も大切な役割だと思っています(笑)



森 錦織さんのおしゃべりは楽しくて、笑いをこらげて次の曲を忘れちゃうくらい。でも、歌い始めれば素晴らしいテノールを聴かせてくれます。有名なオペラ曲をはじめ、誰にでもなじみ深い日本の唱歌など盛りだくさんでお届けしているので、歌う方になればオペラ3本分くらい体力が要るハードな内容ですが、毎回新しい刺激や発見があります。

二人の歌声を自由に楽しんでほしい

錦織 ぼくは、クラシックへの間口を広げたいというも思っている。だから親しみやすい日本の歌も織り交ぜています。日本の歌は自然と情感が思い浮かべられて、誰しもの心に沁みてくるチカラを備えている。とってもシンプルな歌詞なのに、すごく深い余韻がある。そこからクラシックやオペラを身近に感じてもらえればいいな。ぼくたち二人とも、日本の歌もすごくうまいですよ(笑)

森 クラシックやオペラと聞くと敷居が高いと感じてしまう方もいらっしゃるかと思いますが、聴き方は人それぞれ。自由に楽しんでくださればいいんです。

錦織 それに、千葉のホールはどこも響きがよくて、とっても歌いやすい。「千人も入るホールで、マイクなしのナマの歌声がこんなに響いてくるんだ」ということを全身で体感してほしいです。

錦織・森 千葉の皆さんの前で歌えること、思いを共有できる機会を楽しみにしています。

聞き手：古谷円佳(公益財団法人千葉県文化振興財団)
写真：上平庸文

●プロフィール

森麻季(もりまき)

東京藝術大学、同大学院 文化庁オペラ研修所修了後、ミラノとミュンヘンに留学。プラント・ドミンゴ世界オペラコンクールをはじめ、多数の国際コンクールに上位入賞。ワシントン・ナショナルオペラ・アメリカデビュー。ドレステン国立歌劇場《ぼくの騎士》、トリノ国立歌劇場《ラ・ボエーム》に出演を重ねて、国際的な評価を高める。2015年兵庫オペラ《椿姫》、2017年BCJオペラ《ボッパアの戴冠》、2020年BCJオペラ《リナルド》に出演。透明感のある美声と深い音楽性は各方面から絶賛され、日本を代表するオペラ歌手として常に注目をあびる。2022年より国立音楽大学客員教授。ワシントン・アワード、五島記念文化賞、出光音楽賞、ホルオークラ賞受賞。

錦織健(にしきおけん)

国立音楽大学卒業。文化庁オペラ研修所第5期修了。文化庁在外研修員としてミラノに、また五島記念文化財団の留学生としてウィーンに留学。第17回ジロー・オペラ賞新人賞、第4回クローバル東教子賞、第1回五島記念文化賞新人賞、第6回モービル音楽賞洋楽部門奨励賞受賞。1986年《メリー・ウイドウ》カミユ役でデビュー以後、数多くのオペラ公演に出演、また第九や宗教曲等のソリストとしても高く評価を受けている。2022年からはオペラ・ロケエースも始め、2015年には第6弾モーツァルト作曲《後宮からの逃走》も手がけた。NHK紅白歌合戦への出演や、2012年より6年間NHKFM「DJクラシック」のパーソナリティーを務めるなど、幅広く活動している。

和楽器には 演奏する人の 人間性が表れる

聞き手 溝口麻優子 公益財団法人千葉県文化振興財団
写真 上平庸文 撮影 佐倉市民音楽ホール



注目の若手アーティストたちにインタビュー。
彼らの活動に大きな影響を与えたモノや人との出会い、そして文化芸術への情熱を語っていただきます。

邦楽四重奏団

Hougaku Quartet

左上から時計回りに

中島裕康、寺井結子、平田紀子〔箏・三絃・十七絃〕 黒田鈴尊〔尺八〕

2011年、東京藝術大学邦楽科を卒業した4人で結成。「日本の伝統楽器で“今”と“これから”の音楽を創る」をコンセプトに、作曲家に新作を依頼する一方、現代邦楽の名作の再演と伝統的な三曲合奏に取り組んでいる。2016年に発表したCD「邦楽四重奏団 野田暉行邦楽作品集」が『レコード芸術』特選盤などに選ばれる。

——皆さんの和楽器との出会いは？

寺井…もともと父が趣味で尺八を演奏していた、娘が生まれたら箏を習わせたかったそうです。3歳の時に箏の先生の所に連れて行かれ、それから自然と演奏するようになりました。

平田…私も母が趣味で箏を習っていました。最初はおもちゃを遊ぶ感覚で触っていたのですが、母のお稽古に付いて行き「あなたもやってみなさい」と誘われたのが始めたきっかけです。

中島…小学4年生の頃に体育館で開催された鑑賞教室で和楽器と出会い、「なんていい音がする楽器なんだ」と感銘を受けました。その時に演奏していた先生が幼なじみの母親で、鑑賞教室の当日に入門してから今に至ります。

黒田…私の和楽器との出会いは、他の3人よりもっと遅いです。小さい頃からピアニストと指揮者を目指し、大人になってからはバンドを組んだりDJに熱中していました。DJで演奏する面白そうな楽曲を探る中で現代音楽が好きになり、20歳の時に武満徹作曲の「ノヴェンバー・ステップス」という尺八と琵琶とオーケストラの曲を聴き、自分も吹きたくて尺八を始めました。

——昔の伝統芸能は、家元の子どもが家を継ぐために始めることが多かったのですが、皆さんは家とは関係なく始めたのですか。

平田…そうですね。自分の趣味で始めたような感覚です。

寺井…邦楽に限らず、長い歴史の中で見れば門戸がずいぶん開かれてきて、始めたい時に取り組めるようになったのではないのでしょうか。

——やはり、和楽器の魅力は？

寺井…やっぱり音色ですね。公演でも赤ちゃんが静かに聴いてくれていて、きつと落ち着くものがあるんだろうなと思います。

中島…余韻の美しさも何とも言えません。西洋の楽器とは違って、2つの音程を同時に鳴らさない単旋律であることも、引き算のような日本的美意識が感じられます。

黒田…和楽器というのは、演奏する一人ひとりによって音色が異なり、その人の人間性が出てくるんです。逆に、隠しても隠せないのが、面白くも怖いところです。

平田…尺八で「音成仏」ということわざがありますよね。魂に響く音を追求し、一音に一生を賭ける考え方は和楽器ならではでしょう。また、和楽器の魅力はとも奥深く、聴く年齢によって味わいも変化し、時間をかけて楽しむことができます。

——公演で楽しいと感じる瞬間は？

寺井…お客さんの耳と意識が演奏に向いているのが、空気で伝わってくるんです。そうした雰囲気を感じると、嬉しくなりますね。

黒田…同じ曲を同じメンバーで演奏しても、毎回まったく違うものに仕上がるのも面白いです。

——令和5年2月に青葉の森公園芸術文化ホールと千葉東総文化会館で行われる公演の聴きどころを教えてください。

寺井…青葉の森では能舞台で演奏します。2月の春らしさと能舞台ならではの儼かな雰囲気合ったプログラムをお楽しみください。

今後の
予定

『邦楽四重奏団 in 青葉』 青葉の森公園芸術文化ホール 能舞台
令和5年2月12日(日) [チケット11月発売予定]

『邦楽四重奏団 in 東総』 千葉県東総文化会館 小ホール
令和5年2月23日(木・祝) [チケット11月発売予定]

千葉県南総文化ホール

クアルテット・エクセルシオ 南総公演

令和4年10月16日(日) 14:00開演

極めて高い技術とアンサンブル力で聴衆を魅了している、国内トップクラスの弦楽四重奏団「クアルテット・エク



セルシオ」と協働で企画し、クラシックの名曲や、千葉に伝わる民謡を取り入れた多彩なプログラムをご用意しました。楽しいお話を交えながら、子どもから大人まで、誰でも気軽に楽しめるコンサートです。

■演目 ヴィヴァルディ:四季「夏」、アラン・メンケン:リトルマーメイドより「Under the Sea」、日本歌曲より:月の沙漠、証城寺の狸囃子、浜辺の歌 ほか

■出演者 クアルテット・エクセルシオ

(Vn.西野ゆか、Vn.北見春菜、Va.吉田有紀子、Vc.大友肇)

■料金 一般¥2,000 U-30(30歳以下)¥1,000 小中高生¥500(全席指定) ※3歳以下ひざ上無料

千葉県文化会館

しまじろうコンサート
しまじろうとうみのだいぼうけん

令和5年1月28日(土) 13:30開演 / 16:30開演

しまじろうが仲間たちと大活躍する人気コンサートの最新作を上演します。

ガオガオさんの発明品の力で、海の中にやってきたしまじろうたち。たくさんの海の生き物と出会い、楽しい時間をすごしています。しかし、「海の宝石」が壊れてしまったことで海の仲間たちは元気を失ってしまいます…。宝石を元に戻し、みんなの明るい笑顔を取り戻すため、しまじろうたちは大冒険に出発!

■料金

¥3,480(全席指定)

※3歳以下ひざ上無料



© Benesse Corporation / しまじろう

青葉の森公園芸術文化ホール

見る、知る、伝える千葉～創作狂言～
ちばわらい

令和5年1月8日(日) 14:00開演

千葉県に伝わる民話や風習を題材とした創作狂言を制作し上演する「見る、知る、伝える千葉～創作狂言～」プロジェクト。今回は、かつて千葉寺で大晦日の夜に行われていた「千葉笑い」を題材とした創作狂言『ちばわらい』を上演します。悪口を思う存分言い合った後、大笑いして新年を迎えたという行事が、創作狂言としてどう生まれ変わるのか…風刺もたっぷり効いた令和版「千葉笑い」に、ご期待ください!

■料金

一般¥2,100

U-30(30歳以下)¥1,000

小中高生¥500

(全席自由)



千葉県東総文化会館

和太鼓の饗宴

令和4年12月4日(日) 13:30開演

恒例となっている千葉県東総文化会館の『和太鼓の饗宴』を3年ぶりに有観客で開催します。

江戸時代から鉦子だけに伝わる祭り太鼓を国内外へ広める活動をしている「鉦子はね太鼓保存会」や、地域コミュニティと郷土愛をテーマに創作和太鼓集団として結成された「のさか太鼓」をはじめ、地域の特色ある和太鼓チームをゲストに招き、熱のこもった華やかなステージをお届けします。

■出演者 鉦子はね太鼓保存会、のさか太鼓 ほか

■料金 一般¥1,200 小中高生¥500(全席指定)

Culturel Entrée
文化の入り口

『ようこそホールへ!』

注目公演をご紹介します
ホールに足を運んで、新しい発見や感動と出会ってみませんか。

秋のお出かけに!

音楽や文化芸能に気軽に触れられるよう、県内各地で公演を開催、ちばを盛り上げます!

① 東京湾アクアライン
海ほたるPA(木更津市)

日時:10月22日(土)

出演:クアルテット・エクセルシオ

入場料:無料

※開演時間は決まり次第、ホームページでお知らせします。

② ワールドビジネスガーデン
アトリウム(幕張新都心)日時:11月16日(水)
12:15開演出演:Banquet Brass
(金管五重奏)

入場料:無料

③ 与倉屋大土蔵
(香取市佐原)

日時:11月20日(日)

出演:クアルテット・エクセルシオ

入場料:無料

※開演時間は決まり次第、ホームページでお知らせします。



ちば ゆかり人 千葉県にゆかりのあるアーティストや職人を紹介します



佐藤美咲 (船橋市出身)

船橋市立船橋高等学校に入学、2019年度の吹奏楽部部長を務める。2021年、同校で代々受け継がれている応援曲「市船soul」を作曲した浅野大義さんの実話を基にした映画『20歳のソウル』で俳優デビューを飾る。現在はダンサーとして活動中。好きな食べ物はホンビノス貝、特技はダンスオールジャンル、フルート、書道。

映画『20歳のソウル』で俳優デビュー

船橋市立船橋高等学校の吹奏楽部で部活動に3年間打ち込んだ佐藤美咲さん。当時の一番の思い出は、千葉県文化会館で開催されたコンクールでの演奏。曲の中でフルートのソロを吹くパートがあり、頭が真っ白になるほど緊張したのだとか。顧問からの「人はみんな終わりがあ」という教を今も胸に刻み、「何事も終わりがあからこそ、今の自分にできることは何なのかを深く考えて行動し、1日、1分1秒を大切に過ごす」ように心がけているそうです。

映画『20歳のソウル』で演技未経験ながら吹奏楽部の部長という主要キャストに抜擢され、現在はバックダンサーや振り付けなどの活動を通じてダンサーとして活躍中。今後の目標として「お仕事を通してたく

さんの人と出会い、自分のダンスで笑顔にしたい」と掲げています。また、かつての自分のように音楽に励んでいる学生たちにも「最終的な目標は大きく掲げて、その目標を達成するために自分のできることを考え、一步でも目標に近づけるように頑張ってください!」とエールを送ってくれました。



◀専門学校で行われたステージでの一枚



▲吹奏楽部時代、千葉県文化会館で行われたコンクールに出場(写真左上は一番左、写真右下は一番右が佐藤美咲さん)

募集! 読者アンケート

公演チケットがあたる!

アンケート内容

『Mille feuilles(ミルフィーユ)』をお読みいただき、ありがとうございます。アンケートにご回答いただいた方の中から、7ページで紹介している『しまじろうコンサート』(16:30開演の回)の公演チケットをプレゼントいたします(1組につき4名まで)。ぜひご感想をお寄せください。

応募方法: 「はがき」もしくは「WEB」にて、アンケート項目と必要事項(お名前、ご年齢、郵便番号、ご住所、希望人数)をご記入のうえ応募ください。

送り先: 〒260-8661 千葉市中央区市場町11番2号 千葉県文化振興財団『ミルフィーユ』アンケート係

WEBからの応募はこちら



締切: 令和4年12月26日(月) 必着

当選発表: 厳正なる抽選の上、当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

※当選に関するお問合せには回答いたしかねます。※応募は日本国内在住の方に限ります。※チケットの転売、オークション出品はご遠慮ください。※ご記入いただいた個人情報は厳格に管理し、あらかじめご本人の許可なく、個人が特定できる情報を外部に提供することはありません。※お寄せいただいたご意見やご感想は、当ホームページや広報誌等に転載させていただく場合がございます(いただいた内容を転載する際は事前にお知らせすることなく、必要な範囲で編集する場合があります)。

- 『Mille feuilles(ミルフィーユ)』はいかがでしたか? ご意見、ご感想を教えてください。
- 興味深かった記事を教えてください。(できれば理由も)
- 今後取り上げてほしい話題、人などあれば教えてください。
- どこで『Mille feuilles(ミルフィーユ)』を手にとられましたか?

表紙のイラスト

黒板アート作家、画家のすずきらなさん(旭市出身)に、千葉の秋をテーマに描いていただきました。千葉県文化会館開館55周年、青葉の森公園芸術文化ホール開館30周年、千葉県南総文化ホール開館25周年を記念した、各館のウェルカム・アート(玄関装飾)もすずきさんの作品。シーズンごとになるアートで皆様をお迎えます。

ホールへのアクセス

千葉県文化会館

- JR内房線・外房線「本千葉駅」より徒歩約10分
- 千葉都市モレール1号線「県庁前駅」より徒歩約7分
- 京成線「京成千葉中央駅」より徒歩約20分
- JR千葉駅中央改札(東口)より千葉大学病院、南矢作行き「郷土博物館・千葉県文化会館前」下車 徒歩約2分

〒260-8661 千葉市中央区市場町11番2号 TEL:043-222-0201(代)



千葉県東総文化会館

- JR総武本線「旭駅」よりタクシーで約5分/徒歩約15分
- 千葉東金道路、圏央道経由、銚子連絡道路・横芝光ICから国道126号 銚子方面へ約30分
- 東関東自動車道・大栄ICから約40分

〒289-2521 旭市の666番地 TEL:0479-64-2001



千葉県南総文化ホール

- JR館山駅東口より徒歩約20分
- JR千葉駅より高速バス(南総里見号)「南総文化ホール」下車 徒歩約3分
- JR館山駅より亀田病院行き、安房白浜行き「南総文化ホール」下車 徒歩約3分
- 館山自動車道・富浦ICから約15分

〒294-0045 館山市北条740番地1 TEL:0470-22-1811



青葉の森公園芸術文化ホール

- 京成千原線「千葉寺駅」より徒歩約15分
- JR千葉駅中央改札東口より星久喜台経由「ハーモニープラザ」下車 徒歩約8分
- JR蘇我駅東口より大学病院行き「芸術文化ホール」下車 徒歩約5分
- 京葉道路・松ヶ丘IC/千葉東金有料道路・千葉東ICより約10分

〒260-0852 千葉市中央区青葉町977番地1号 TEL:043-266-3511



TICKET

チケットのお申込み・お問合せ

1 インターネット予約

- ※要会員登録
- ※一部対象外公演あり
- ※深夜3:00~4:00はメンテナンス休止中



2 電話予約 (9:00~17:00)

千葉県文化会館 043-222-0201 千葉県東総文化会館 0479-64-2001
千葉県南総文化ホール 0470-22-1811 青葉の森公園芸術文化ホール 043-266-3511

上記の方法にてご予約の上、各ホールの受付カウンター(手数料なし)かクレジットカード(手数料あり520円)、コンビニ(手数料あり520円)にてお支払いください。チケットのお渡しは、カウンターでのお支払いの場合は代金と引き換え、クレジットカードもしくはコンビニ決済の場合は郵送となります。

※本誌掲載の料金は全て税込価格です。